

平成28年度 事業報告

公益財団法人栃木県農業振興公社

平成２８年度公益財団法人栃木県農業振興公社事業報告書

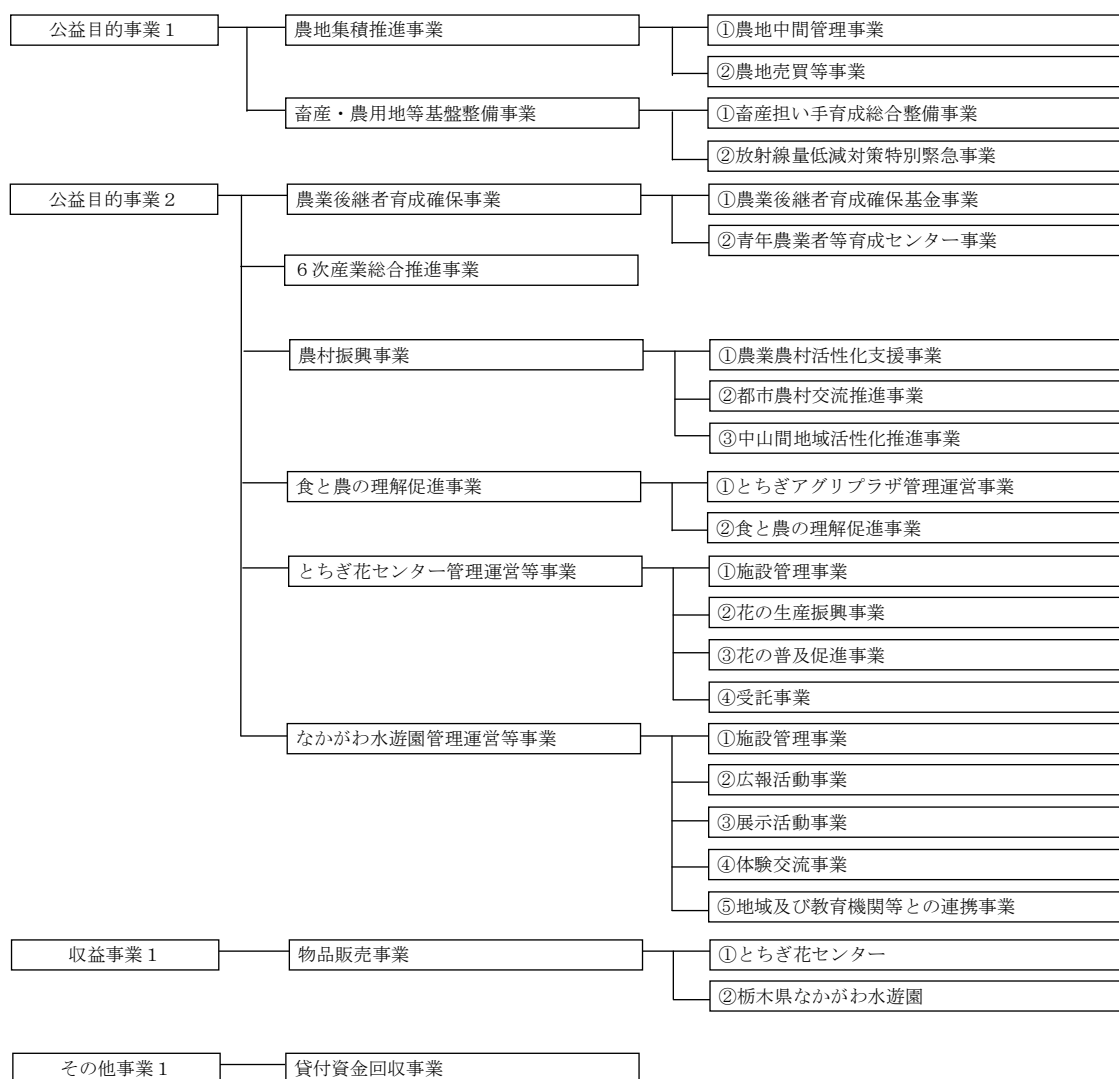
公益財団法人として本県農業の更なる発展と農村地域の振興を図るため、農業者はもとより消費者や国、県及び関係機関・団体と協力しながら、「平成２８年度事業体系」に掲げた各種事業を実施した。

農地中間管理事業については、農地中間管理機構の体制強化を図り、担い手への農地の集積・集約化を推進した。また、畜産・農用地等基盤整備事業では、畜産経営の合理的・安定的な発展を推進するための施設等の整備や牧草地等における放射線量の低減を図った。

さらに、就農希望者や青年農業者に対する農業後継者育成事業の実施や、栃木６次産業化サポートセンターの取組、農業農村活性化のための支援事業やとちぎの豊かな食と農を理解促進させる事業を実施した。

一方、県の指定管理施設である「とちぎ花センター」では、新たなイベント「ホテルまつり」の開催や「花カフェ」のリニューアル、なかがわ水遊園では、開園１５周年を記念した「水遊園１５祭」などを開催して、魅力ある施設の運営と地域の活性化に努めた。

○ 平成２８年度事業体系



I 農地集積推進事業（公１事業）

農用地等の利用の効率化及び高度化を促進するため、県、市町、農業委員会及び農地利用集積円滑化団体等との連携の下に、社会・経済情勢の変化や農用地移動の動向等に即しつつ、農地中間管理機構としての体制整備を図りながら、農地中間管理事業及び農地売買等事業を実施した。

1 農地中間管理事業（公１・１ 農地利用集積に関する事業）

農地中間管理機構として農地を借受け、担い手に集約して貸付ける事業及び担い手に貸し付けるまでの農地を管理する事業を実施し、担い手への農地集積及び集約化を図った。

(1) 農地の貸借

ア 借 入

事業名	面積 (ha)		備考
	平成 28 年度	累計 (H26～)	
農地中間管理事業（農地中間管理権設定）	1,167	3,133	

※公告ベース

イ 貸 付

事業名	面積 (ha)		備考
	平成 28 年度	累計 (H26～)	
農地中間管理事業（農用地利用配分計画）	1,148	2,764	

※公告ベース

(2) 推進内容

項目	事業内容
① 取組み支援	集落営農組織の法人化による集積・集約化の取組や個別担い手による集積・集約化の取組を支援した。 取組み実績 20 地域
② 業務委託の実施	各市町・各市町農地利用集積円滑化団体・各農業協同組合に相談窓口を設置し、借受け・貸付け条件の確認・手続き等の業務委託を実施し、市町等関係機関との連携を図った。 相談窓口 70 団体 / 業務委託数 38 団体（申合せ含）
③ 借受希望者の公募	農地の受け手となる担い手（借受希望者）の公募を実施し公表した。 借受希望者数 1,438 名 / 借受希望面積 7,365ha
④ 事業の啓発・普及	① 事業の周知を図るため各市町キャラバンを実施し、関係機関団体への啓発・普及を図った。 ② 新聞広告、ラジオ・テレビCM、事例集・リーフレット等の広報活動により、農業者等への周知、理解促進を図った。 新聞広告 下野新聞・読売新聞・朝日新聞・毎日新聞・全国農業新聞・首都圏広報誌等 CM 栃木放送・エフエム栃木・とちぎテレビ その他 バス広告 リーフレット 約 20 万部

(3) 農地利用集積連携事業

農地集積の円滑な推進のため、会議を開催し、関係機関団体と農地中間管理機構との連携強化を図った。

会 議	開催日	場 所	内 容
第 1 回 中間管理事業推進会議	H28. 10. 13	宇都宮市	①農地中間管理事業の推進状況について ②事業推進上の課題及び対応について ③平成 28 年度の推進方針について 外
第 2 回 中間管理事業推進会議	H29. 2. 8	宇都宮市	①農地中間管理事業の推進状況について ②事業推進上の課題及び対応について ③人・農地プランの見直し等について ④平成 29 年度推進方針について 外

2 農地売買等事業 (公 1・1 農地利用集積に関する事業)

規模縮小を志向する農家等から農地を買い入れ、規模拡大を志向する認定農業者等に売り渡す事業を実施し、農地の利用集積を図った。

ア 買 入

事 業 名	件 数	面 積 (ha)	金 額 (千円)	備 考
農地売買支援事業	200	107.9	558,321	
公社営農地売買支援事業	57	16.5	77,528	
計	257	124.4	635,849	単価 511 千円/10a

イ 売 渡

事 業 名	件 数	面 積 (ha)	金 額 (千円)	備 考
農地売買支援事業	192	105.7	569,108	
公社営農地売買支援事業	46	16.2	79,020	
計	238	121.9	648,128	

<参考>過去 5 年の買入実績一覧

年 度	23	24	25	26	27
件 数 (件)	194	200	214	185	222
面 積 (ha)	93	99	123	97	108
金 額 (千円)	650,772	661,301	780,314	593,487	599,554
10a 当たり単価 (千円)	700	668	634	612	555

Ⅱ 畜産・農用地等基盤整備事業（公 1 事業）

生産性の高い畜産経営の確立及び牧草地等の放射線低減を図るため、県・市町等の関係機関や農業団体と連携し、生産基盤の整備や環境整備等に関する次の事業を実施した。

【畜産関係基盤整備事業の総括表】

事業名	地区名	事業期間	H28 事業実績			進捗率
			施工箇所	事業参加者	H28 事業費 (千円)	
畜産担い手育成 総合整備事業	日光高原	H25～H29	鹿沼市 日光市	5 名	253,884	90.4%
	栃木塩那	H27～H30	さくら市 那須烏山市 那珂川町 高根沢町	8 名	134,825	15.0%
	大田原・那須	H28～H32	大田原市 那須町	9 名	7,370	1.0%
	3 地区		計		396,079	
放射線量低減対 策特別緊急事業		H23～H28	日光市 那須塩原市 那須町	1 市 1 町 1 組合	8,175	
合 計			H28 事業費実績 404,254			

1 畜産担い手育成総合整備事業（公 1・2 畜産・農用地等基盤整備事業）

畜産産地として今後安定的な発展が見込まれる地域において、生産性の高い経営体群の育成と、これを核とした畜産主産地の再編整備を進めることにより、畜産経営の合理的かつ安定的な発展を積極的に推進するため、草地、畜舎、家畜排せつ物処理施設等の整備事業を実施した。

地区名	予算 区分	施工 箇所	事業 参加者	事業費(千円)	主 な 事 業 内 容
日光高原	H27 繰越	日光市	1 名	15,604	・草地整備 9.90ha
	H28	日光市	3 名	121,016	・施設用地造成 0.27ha ・飼料畑造成 0.29ha ・飼料畑整備 0.55ha ・畜舎 1 棟 ・堆肥舎 2 棟 ・看視舎 1 棟
		鹿沼市	1 名	117,264	・施設用地造成 0.39ha ・飼料畑造成 2.88ha ・畜舎 1 棟 ・堆肥舎 1 棟 ・バンカーサイロ 1 棟
栃木塩那	H28	さくら市	1 名	43,128	・飼料畑造成 1.61ha ・飼料畑整備 1.34ha ・施設用地造成 0.01ha ・畜舎 1 棟 ・堆肥舎 1 棟
		那珂川町	2 名	76,333	・飼料畑造成 3.62ha ・飼料畑整備 0.99ha ・施設用地造成 0.55ha ・畜舎 1 棟 ・堆肥舎 1 棟
		那須烏山市	4 名	12,662	・飼料畑造成 2.77ha ・飼料畑整備 2.54ha ・施設用地造成 1.15ha
		高根沢町	1 名	2,702	・飼料畑造成整備測量 1 式
大田原・那須	H28	大田原市	4 名	3,028	・畜舎設計 1 式 ・飼料畑造成整備設計 1 式
		那須町	5 名	4,342	・畜舎・堆肥舎設計 1 式 ・飼料畑造成整備設計 1 式
合計	H27 繰越		1 名	15,604	
	H28		21 名	380,475	
	計		22 名	396,079	

2 放射線量低減対策特別緊急事業（公1・2 畜産・農用地等基盤整備事業）

東日本大震災による原子力災害により汚染された公共牧場等の永年牧草吸収抑制対策等及び指定廃棄物一時保管業務の事業を実施し、放射線量の低減を図った。

区 分 (対 象)	施工箇所	事業費 (千円)	事業量	主な事業内容
環境省事業 (牧草等放射性指定廃棄物)	那須塩原市	3,218	45箇所	指定廃棄物の一時保管工 事の設計・施工監理
	那須町	1,231	3箇所	
農水省事業 (県内公共牧場)	日光市	1,782	43.41ha	永年牧草地の反転耕・深 耕等による吸収抑制対策
	那須町	1,944	26.00ha	
合計		8,175		

Ⅲ 農業後継者育成確保事業（公２事業）

次代を担う優れた青年農業者の育成・確保を図るため、県及び関係機関・団体等との連携のもとに、農業後継者育成確保基金事業及び青年農業者等育成センター事業を実施した。

1 農業後継者育成確保基金事業（公２・１ 自主事業）

県・市町・農業団体・農業者等の協力で造成された農業後継者育成基金の運用益により青年農業者の育成等を図るため、次に掲げる事業を実施した。

(1) 国際化対応サポート事業

就農希望の青少年や青年農業者を対象に、国際化に対応できる経営感覚に優れた農業者の育成を図るため、次の事業を実施した。

ア 農業学生海外研修支援事業

期 日（期 間）	研 修 先	事 業 内 容
H28. 7. 10～22（13 日間）	ニュージーランド	栃木県農業学校クラブ連盟主催 「ニュージーランド派遣研修」6 名助成

イ 海外長期研修支援事業

期 間	研 修 先	参 加 者	事 業 内 容
H29. 3～ H30. 10（約 19 ヶ月）	アメリカ	宇都宮市 2 名 壬生町 1 名	海外における農業経営、技術等の研修 （渡航前講習等を含む）

ウ 海外短期派遣研修事業

期 間	研 修 先	参 加 者	事 業 内 容
H28. 9. 26 ～10. 5 （10 日間）	スイス オランダ ド イ ツ	青年農業者 14 名 県 1 名 農業振興公社 2 名 計 17 名	施設野菜・果樹・畑作の大規模経営視察、 有機農法、直接農業所得補償、アールスメール花市場調査、環境保全型農業、グリーンツーリズム、後継者との意見交換、市場調査、他

(2) 担い手チャレンジ支援事業

青年農業者等を対象に、農業及び農家生活等に関する知識、技術の向上を図るため、次の事業を実施した。

ア 経営発展活動支援事業

実 施 事 業 数	事 業 内 容
宇都宮市 1 件 高根沢町 1 件	・「紫外線UV-B照射」によるいちごうどんこ病の防除 ・労働力軽減によるごま新産地の育成

(3) 組織活動サポート事業

青年農業者の仲間づくりや自己研鑽を図るため、自主的な組織活動を支援した。

ア 組織活動支援事業

実 施 団 体	事 業 内 容
栃木県青少年クラブ協議会	集団活動の促進、仲間づくり活動の活性化、青年農業者の資質向上

イ 青年農業者地域貢献支援事業

実 施 団 体	事 業 内 容
上三川町 4 H クラブ協議会 外 5 組織	未利用地を活用したひまわり栽培と花配布を通じた地域農業の理解促進活動、外 5 組織による地域貢献事業

ウ 全国技術交流派遣事業

期 日	場 所	参 加 者	事 業 内 容
H28. 7. 20～ 22	長野県、埼玉県、栃木県	青年農業者 32 名 農業振興公社 1 名 計 33 名	平成 28 年度全国青年農業研究大会（長野大会）・関東ブロック農村青少年クラブプロジェクト実績発表会等に参加。
H29. 2. 28 ～3. 1	東京都 （国立オリンピック記念青少年総合センター）	青年農業者 7 名 農業振興公社 2 名 計 9 名	第 56 回全国青年農業者会議に参加。プロジェクト発表（園芸・特産部門）で農林水産省経営局長賞を受賞。

(4) いきいき農業・農村情報発信事業

青年農業者が自信と誇りを持って農業に取り組むことができるよう、青年農業者が行う農業・農村の理解促進のための活動を支援した。

ア 青年農業者と消費者の交流促進事業

期 日	場 所	実 施 団 体	事 業 内 容
H28. 10. 22	壬生町 （みぶハイウェイパーク）	栃木県青少年クラブ協議会	フレッシュファーマーズマルシェ 2016 （来場者：4,830 名）

2 青年農業者等育成センター事業 （公 2 ・ 1 自主事業）

農業従事者の減少・高齢化が進行している中、次代の本県農業を担う新規就農者の確保が急務となっている。この様な課題を解決するため、新規就農希望者に対し就農促進啓発や就農相談活動等を実施した。

(1) 就農支援事業

本県農業の担い手となる幅広い就農希望者を対象に、就農促進啓発や就農相談会等を実施するとともに、就農支援情報（農地情報等）の収集、蓄積、情報提供を行い、就農促進を図った。

ア 就農促進啓発事業

① 就農相談活動等

期 日	事 業 内 容
H28. 4～ H29. 3	新規参入希望者等に対する就農相談活動、就農に関する情報収集・提供 相談件数 99 件
H28. 5. 29 7. 24 9. 25 11. 27 H29. 2. 5	新規就農相談会 in とちぎ（宇都宮市）の開催（開催回数 5 回） 相談件数 81 件
H28. 11. 5	新規就農相談会 in 品川（ハローワーク品川）の開催 相談件数 5 件
H28. 7. 16 8. 6 9. 10 11. 12 H29. 2. 18	新・農業人フェア（東京都）・北海道新規就農フェアでの就農相談ブースの出展（5 回） 相談件数 183 件
H28. 9. 2	とちぎ U I J ターン就農面接会（東京都）での就農相談ブースの出展 相談件数 3 件
H28. 10. 22	ふるさと回帰フェア（東京都）での就農相談ブースの出展 相談件数 9 件
H28. 8. 22	新規参入フォーラム in とちぎ 2016（宇都宮）の開催（参加申込人数 70 人） ※台風により中止
H28. 12. 3	新規参入現地セミナー in とちぎ 2016（県内）の開催（参加人数 24 人） 相談件数 23 件
計	就農相談件数 403 件（計画比 115.1%）

② 就農促進啓発活動

事 業 項 目	事 業 内 容
就農啓発促進資料の配布	・「とちぎで農業はじめよう」推進ガイドブック他の配布による就農啓発（各種支援情報等の資料セットの配布） ・新規参入事例集の配布による就農啓発 ・ホームページ作成、更新による就農啓発（12 回更新）
新規参入・就農支援活動の広報・P R	・新聞広告掲載による就農啓発（掲載回数 6 回） ・就農相談会開催チラシの作成・配布

イ 就農サポート事業

事業項目	事業内容
就農情報バンク	就農支援情報の整備件数 31 件（うち、H28 新規情報 1 件）

(2) 青年就農給付金事業（準備型）

青年の就農意欲の喚起を図るため、就農前の研修期間（2 年以内）に就農給付金（年間 150 万円）を給付し、円滑な就農を促進した。

公募期間	事業内容
第 1 回公募 H28. 5. 13～ 5. 22	第 1 回 給付件数：9 名（うち 1 名は年度内に返還）
第 2 回公募 H28. 7. 22 ～8. 5	第 2 回 給付件数：8 名
第 3 回公募 H28. 10. 14～10. 28	第 3 回 給付件数：5 名
第 4 回公募 H28. 12. 22～H29. 1. 11	第 4 回 給付件数：8 名
	平成 28 年度新規給付対象者人数 29 名
	平成 27 年度継続給付対象者人数 17 名 計 46 名

(3) とちぎでいちごを始めようプロジェクト事業

本県の新たないちご生産者を確保するため、県内外から幅広くいちご就農希望者を呼び込むとともに、就農啓発や就農相談活動・情報発信等を通して、就農・定着促進を図った。

期 日	事業内容
H28. 7. 16 9. 10	新・農業人フェア（東京都）での就農相談ブースの出展（2 回） 相談件数 43 件
H28. 11. 20 12. 18	とちぎの農業法人現地見学ツアーの開催（2 回） 見学法人 2 社 参加人数 31 名

(4) 雇用就農者確保育成事業

新たに県内の農業法人等への雇用就農を希望する者が、本県で円滑かつ確実に就業して、定着できるよう、県内外から幅広く就業希望者を呼び込むとともに、雇用就農に向けた啓発や相談活動、法人現地見学会、情報発信等を通して、雇用就農促進を図った。

期 日	事業内容
H28. 11. 12 H29. 2. 18	新・農業人フェア（東京都）での法人求人ブースの出展（2 回） 出展法人 4 社 相談件数 20 件
H28. 11. 20 12. 18	とちぎの農業法人現地見学ツアーの開催（2 回） 見学法人 7 社 参加人数 31 名

Ⅳ 6次産業総合推進事業（公2事業）

農業者が農業・農村に存在する豊かな「地域資源」を活用し、農業者による生産・加工・販売の一体化による6次産業（1次産業×2次産業×3次産業）の創出と異業種との連携による新たなビジネスの創出を促し、農業・農村の活性化を図る取組を支援した。

1 6次産業総合推進事業（公2・2 受託事業）

農業の6次産業化を推進するため6次産業化サポートセンターを設置し、実践アドバイザーを派遣して総合的なサポートを行うとともに、研修会等を開催した。

項 目	事業内容
1. アドバイザーの派遣	6次産業化実践アドバイザーを派遣し、農業者等が行なう生産から商品開発、事業化までを一貫して指導するとともに、総合化事業計画認定者のフォローアップを行った。 ・アドバイザー派遣：延べ92回 ・6次産業化総合化事業計画認定数：5件 （平成29年3月末現在の認定数：45件）
2. 6次産業化への取組支援	6次産業化を推進するため、農業者等からの相談窓口を設置するとともに、推進会議の開催や情報発信等を行った。 ・推進会議：2回（7月、3月） ・農業者等から相談件数：161件 ・事例集作成：8,000部（3月）
3. 6次産業化を実践する人材育成	新たな農業を創造できる優れた経営感覚の農業者等を育成するため、6次産業化実践塾を開催した。 ・人材育成研修会 開催回数：6回、受講者：延べ95名 ・インターンシップ研修全12日間 6箇所 受講者：延べ50名
4. 販路開拓の支援	新商品等の販路拡大の取組を支援した。 ・アグリフードEXPO 東京(8月)：出展件数 3件 ・とちぎ食と農の展示商談会(2月)：出展件数 7件

※ 「参考」 県内の6次産業化総合化事業計画認定件数（H29.3.31） 45件

経営類型（生産部門）	認 定 件 数
耕 種	8
野 菜	13
果 樹	7
畜 産	14
特用林産	3

V 農村振興事業（公2事業）

農業・農村の活性化を図るため地域農業振興アドバイザーの派遣を行うとともに、若い世代に農業が持つ多面的機能等の理解促進を図るため各種コンクールの開催、並びに情報発信を行った。

また、農村地域が持つ自然環境や伝統文化、多彩な農産物などの豊かな地域資源を生かしながら、創意と工夫による都市と農村の交流、中山間地域における農地保全活動などを支援し、魅力と活力のある農業・農村づくりを推進した。

1 農業農村活性化支援事業（公2・1 自主事業）

農村地域の活性化を図るため、課題解決に向けて専門家を派遣して指導・助言を行い、さらに、若い世代の年代に応じた農業・農村への理解と関心を深めるため各種コンクールを開催した。

また、農業・農村の活性化等の取組を「とちぎ発元気農業」で情報発信した。

項 目	事業内容
1. 地域活性化の取組支援	農業経営・流通・加工・交流等の専門的知識を有する地域農業振興アドバイザーを派遣し、農業農村の活性化を支援した。 ・アドバイザー派遣：1件（3月）
2. 農業農村への理解促進	農業農村児童画コンクール、美しいとちぎのむら写真コンテスト等を開催するとともに、優秀作品を展示し農業農村の理解を深めた。 ・児童画コンクール：応募点数1,439点（県内小学校163校参加） 知事賞、教育長賞、農政部長賞授与（各3点ずつ） 県庁15Fロビー展示（10月、2月） ・写真コンテスト（中・高生対象）：応募点数174点 （県内9の中・高等学校参加） 知事賞（2点）農政部長賞（4点）入選（20点）授与 県庁15Fロビー展示（10月、2月）
3. 情報の収集・提供	農業・農村の活性化のための情報誌「とちぎ発元気農業」を発行・配付した。 ・発行回数：2回（8月、2月）

2 都市農村交流推進事業（公2・1 自主事業）

都市と農村地域の交流を促進し、更なる地域活性化を図るため、以下の取組を行った

事業名	事業内容
都市農村交流施設活性化推進事業	(1) 都市農村交流施設状況調査 県内の都市農村交流施設状況を調査・集計し、その結果を基に特徴的な取組状況を取りまとめ、他施設の活性化を促進した。 ・都市農村交流施設設置状況調査（5月） ・県内農産物直売所におけるPOSシステム利用に関する調査（6月） ・都市農村交流施設運営等に関する調査（12～3月） ・特徴的な取組状況をまとめた「売上げアップの工夫事例」を作成（3月） (2) 都市農村交流施設活性化推進員指導・助言活動 ・推進員設置1名 ・中小企業診断士を派遣し、直売所運営改善支援を実施。1件（2月）

3 中山間地域活性化推進事業（とちぎ夢大地応援団推進事業）

中山間地域の多面的機能の保全を目的に、地域住民と都市住民等の協働によるボランティア活動を推進するとともに、若い世代に農地保全活動等を通じて自然豊かな農村の理解促進を図った。

項 目	事業内容
1. 広報活動の実施	夢大地応援団ボランティア活動の情報収集と発信 ・情報誌「はばたけ夢大地」の作成配付：2回（9月、3月）
2. ボランティア活動実施支援	ボランティア活動を実施する地域の活動支援をした。 ・推進地区：2地区（延べ参加者 98名） ・継続地区：8地区（延べ参加者 356名）
3. カレッジ活動の開催	若い世代を対象にした夢大地応援団カレッジ活動を開催した。 ・文星芸術大学学生を対象に3回実施（延べ参加者 71名）
4. 地域と都市住民を結ぶメールマガジンの作成・発信	夢大地応援団ボランティア活動の募集や結果報告等の情報をホームページで発信し、地域と都市住民の理解促進を図った。 ・夢大地応援団員：登録者数 220名（うち新規 4名）

VI 食と農の理解促進事業（公2事業）

人が生きる上で最も重要な「食」と、これを支える農業の大切さを一人でも多くの県民に理解してもらうことを目的に事業を実施した。

1 とちぎアグリプラザ管理運営事業（公2・1 自主事業）

県民の食料・農業・農村に対する理解を深め、これらの振興を図るため、その拠点となるとちぎアグリプラザを適切に管理・運営するとともに、県民が食と農の理解を促進するための事業を実施した。

事業名	事業内容
とちぎアグリプラザ管理運営事業	① 施設の管理運営（地上3階、延床面積1,804.72㎡） ② 食と農に関する相談・情報提供 ③ 食と農の理解促進に資する事業 （主な活動実績） ・アグリプラザ利用者 11,665名 （うち、食と農の交流室利用者 1,636名） ・食と農に関する図書類やとちぎ子どもの食育ライブラリーにある教材やパネルの貸出(159件)

2 食と農の理解促進事業（公2・2 受託事業）

県民が食と農に関する興味や関心を高め、次の世代が望ましい食生活を送れるようにするため、食育の実践に資する事業を実施した。また、とちぎの豊かな食と農に対する理解を促進させ、これを多くの県民に広めるための事業を実施した。

事業名	事業内容
「とちぎ食育応援団」活用促進事業	食育を継続的に推進するため未就学児とその保護者を対象とした「とちぎっ子食育出前講座」を開催したほか、応援団員の資質向上を目的とした研修会の開催や情報発信を行った。 (1) とちぎっ子食育出前講座等応援団活動（保育所・幼稚園等への応援団の派遣） 講座開催回数 51回 （派遣応援団員数 延べ122名 講座参加者数 2,902名） (2) 食育応援団の一般的活動（食と農のふれあいフェア等への派遣） 派遣者数延べ12名（2回） (3) 活動力アップ研修会の開催（食育活動における資質向上のための研修会） 研修会参加者数 31名（1回） (4) 活動PR情報誌の作成・配布（応援団等への情報提供） 発行回数2回（11月、3月） (5) 食育応援団員の募集・登録・名簿作成 登録応援団員数 443名（うち新規5名） (6) 企業応援団員の活用促進 企業応援団員の活用 34回、新規企業応援団員登録 1件

食と農の理解促進プロモーション事業	県民に食と農の理解を広げるための実践プログラム「つながろう！食と農の実践講座」を開催し、受講者が習得した知識を地域に伝え、食と農の理解の輪を県民に広げる「食と農の伝道者」の育成を図った。 また、とちぎアグリプラザの周知に併せ、食と農の理解促進を図るため、各種イベントに出展し、PR 活動を実施した。 (1) 「つながろう！食と農実践講座」（「食と農の伝道者」としての人材育成に資する講座） ・大人コース 5 回（10～12 月）受講者 延べ 134 名 ・親子コース 3 回（10～12 月）受講者 56 組 152 名 (2) とちぎアグリプラザまっりの開催 これまでの 8 年間の実績を踏まえ、開催方針等について検討会を設置し、見直しを図った。その結果、県内全域に視点を置いた PR 活動に取り組むこととなり、以下のイベントに出展した。 ・パワフルアグリフェア（H28. 7. 23、24）〔みずほの自然の森公園（宇都宮市）〕 ・那珂川大感謝祭（H28. 9. 11 ）〔栃木県なかがわ水遊園（大田原市）〕 ・とちぎ“食と農”ふれあいフェア 2016（H28. 10. 29、30）〔県庁（宇都宮市）〕 ・フェスタ in パルティ 2016（H28. 11. 19）〔パルティ（宇都宮市）〕 ・スプリングカーニバル（H29. 3. 18）〔とちぎ花センター（栃木市）〕
--------------------------	--

Ⅶ とちぎ花センター管理運営等事業

本県における花の振興と、花とのふれあいによる心豊かな人づくりを目的に、県が栃木市に設置した「とちぎ花センター」において、指定管理者の指定に基づく管理運営業務及びこれに関する附帯事業など次に掲げる事業を実施した。

1 指定管理者の指定に基づく管理運営業務（公２・３ 指定管理事業）

(1) 施設管理事業

とちぎ花センター施設の維持管理、鑑賞大温室内植物の育成管理、入館料等の徴収事務等の業務を実施した。

管理建物 16 棟 6,392 m² （内 鑑賞大温室 2,225 m²）
敷地 花壇等 3.1ha

項 目	平成 28 年度の実績
入園者数	311,600 名（計画 360,000 名）
有料入館者数	19,908 名（計画 22,000 名）

(2) 花の生産振興事業

生産温室では、園内等での展示品種の栽培・育成を実施した。また、県農業試験場と連携し、県で開発した新品種の展示等を通して、県産花きや生産者等の情報発信を行った。展示温室では、消費者に関心の高い切花と鉢物を計画的に展示した。新たに、花き販売所において「とちぎブランド花き」コーナーを設置し、県産花きと生産者の情報発信に努め、さらに、東京都で開催された第 66 回関東東海花の展覧会でウエルカムゾーンの飾花を担い、県産花きの P R を行った。

(3) 花の普及促進事業

花とのふれあいを通して「癒し」を提供するため、花壇の植栽や企画展、フラワーフェスティバル等のイベントを開催した。また、植物を活用した体験型の花育講座や園芸福祉活動に取り組んだ。

項 目	業 務 内 容
企画展の開催	鑑賞大温室では熱帯・亜熱帯植物及び砂漠地帯の植物の常設展示のほか、第 1 企画展示室において年間 11 回、テーマ別展示を実施した。
	①H28. 5. 10～ 6. 5 豪華あじさい展
	②H28. 6. 7～ 7. 3 薬になる植物展
	③H28. 7. 5～ 7. 24 ブラジルの植物展
	④H28. 7. 26～ 8. 28 食虫植物展
	⑤H28. 9. 3～10. 2 秋のガーデニング展
	⑥H28. 10. 4～10. 30 世界のスパイス展
	⑦H28. 11. 1～11. 20 ハンギングバスケット展
	⑧H28. 11. 22～12. 25 クリスマスを彩る花たち
	⑨H29. 1. 2～ 2. 5 春の花と縁起の良い植物展
	⑩H29. 2. 11～ 2. 26 春のフラワーアレンジメント展
	⑪H29. 2. 28～ 5. 7 洋ラン展

花壇の植栽	①大花壇 年3回のデザイン花壇の植栽を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th><th>植物</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27. 10. 20)～H28. 5. 8</td><td>パンジー・ビオラ</td></tr> <tr> <td>H28. 5. 16 ～ 7. 10</td><td>マリーゴールド・コキア</td></tr> <tr> <td>H28. 7. 20 ～ 10. 23</td><td>サルビア・(コキア)</td></tr> <tr> <td>H28. 11. 1～(H29. 5. 7)</td><td>パンジー・ビオラ</td></tr> </tbody> </table> ※県民ボランティア「とちはなちゃんファンクラブ」と協働で実施した。 ②中小花壇 多品種のバラ園など季節の花を植栽した。 ※バラ園の管理はボランティア組織「ローズクラブ」を中心に定期的な管理を行った。	期間	植物	(H27. 10. 20)～H28. 5. 8	パンジー・ビオラ	H28. 5. 16 ～ 7. 10	マリーゴールド・コキア	H28. 7. 20 ～ 10. 23	サルビア・(コキア)	H28. 11. 1～(H29. 5. 7)	パンジー・ビオラ
期間	植物										
(H27. 10. 20)～H28. 5. 8	パンジー・ビオラ										
H28. 5. 16 ～ 7. 10	マリーゴールド・コキア										
H28. 7. 20 ～ 10. 23	サルビア・(コキア)										
H28. 11. 1～(H29. 5. 7)	パンジー・ビオラ										
体験教室の開催	①園芸教室（27回開催 参加者277名） 花や植物を材料にした体験型の教室を開催した。 ②とちはなカレッジ（受講者79名） 花の専門的知識を希望する方を対象に、「草木染め講座」「バラ講座」など6コースを開講し、園芸の普及に努めた。										
花育の取組	①花育講座 小学生を対象とした体験講座を開催した。 ②地元小学生の招待 夏休み期間に栃木市の小学生をとちはなちゃんドーム（鑑賞大温室）に招待し、植物に親しむきっかけづくりとした。 ③園芸相談 植物の栽培管理等についての相談に随時対応した。										
イベントの開催	春のフラワーフェスティバルやローズフェスタなど年間9回のイベントを開催した。その中で、開園時間を延長して夜のイベントも開催した。 ①H28. 4. 29 ～ 5. 8 春のフラワーウィーク ②H28. 5. 21 ～ 6. 12 ローズフェスタ (ナイトガーデン 5. 28～29、6. 4～5) ③H28. 6. 4 ～ 6. 5 ホテルまつり（新規） ④H28. 8. 12 ～ 8. 14 ホラーガーデン ⑤H28. 9. 17 ～ 9. 19 わくわく体験フェア ⑥H28. 10. 8 ～ 10. 10 秋のフラワーフェスティバル ⑦H28. 12. 17 ～ 18、23～25 クリスマスファンタジー ⑧H29. 1. 2 ～ 1. 9 お正月スペシャルウィーク ⑨H29. 3. 18 ～ 3. 20 スプリングカーニバル										
園芸福祉活動の取組	75歳以上の方をとちはなちゃんドームに無料招待し、植物による癒しを提供した。また、障害者用のコンテナガーデンへの植栽などに取り組んだ。										

2 附帯事業（花き類販売等事業）（収1事業）

公社の自主事業として、花き販売所及び花カフェの運営を実施した。特に花カフェにおいては、内装・メニュー等を一新し、さらなる利用者サービス向上に努めた。

Ⅷ なかがわ水遊園管理運営等事業

那珂川の豊かな水と緑に親しみ、水生生物とふれあう場を提供することにより、その沿川地域の自然と文化についての県民の理解を深めるとともに、都市と農村との交流の促進を図ることを目的に、県が大田原市に設置した「栃木県なかがわ水遊園」において、指定管理者の指定に基づく管理運営業務及びこれに関する附帯事業など次に掲げる事業を実施した。

特に本年度は開園 15 周年記念事業として 15 種類のお祭りイベント「水遊園 15 祭」を開催した。

1 指定管理者の指定に基づく管理運営業務（公 2・3 指定管理事業）

(1) 施設管理事業

園内各施設の維持管理、植栽管理等の管理業務を実施した。

園内大池でコイの疾病（浮腫症・KHV）が発生したため、県関係機関指導のもと適切なまん延防止対策を講じた。

項 目	施 設 の 内 容 等
建 物	おもしろ魚館（愛称：フィッシュパル） 展示ゾーン：延べ床面積 4,500 m² ：総水量 約 600 t ：水槽数 48 基 体験交流ゾーン：延べ床面積 1,500 m² おさかな研究室、味わい工房、創作工房等
公 園	面積：約 25 h a 施設：芝生広場、お魚ふれあいステーション、水の広場、公園サービスステーション等
おもしろ魚館 入館者実績	入 館 者 数：285,189 名（計画 270,000 名） 有料入館者数：191,434 名（計画 183,949 名）

(2) 広報活動事業

本園の展示企画や体験講座、季節に合わせた各種イベント開催の情報を、各メディア、行政・教育機関等に配信するほか、集客場所を活用しての P R 活動を積極的に展開し、本園への集客力を高めるとともに、来園者が周辺地域を周遊するよう地域の情報発信を行うなど、地域の活性化に努めた。

項 目	事 業 内 容
広報配布物	ポスター・チラシ・リーフレット・ミニカレンダー・体験講座メニュー等の配布
広報媒体	有料活用：新聞・テレビ・ラジオ・旅行雑誌・野立看板 無料活用：ホームページ・メールマガジン・新聞・テレビ・ラジオ・各種雑誌・市町広報誌・大田原市及び那珂川町内回覧板

広報活動	県等自治体主催の行事 ・全国ご当地キャラクター大集合in大田原（4月） ・県庁展示コーナー出展（7月、10月、12月、3月） ・県民の日イベント出展（6月） ・栃木県農業試験場公開デー（8月） ・全国ご当地キャラクタースポーツ大会in大田原（9月） ・とちぎ動物愛護フェスティバル（9月） ・とちぎ食と農ふれあいフェア（10月） ・栃木県酪農フェア（10月） ・天狗王国まつり開催（10月） ・大田原産業文化祭出展（11月） ・フェスタインパルティ出展（11月） ・冬のキャラ音（on）フェスin大田原（12月） ・プレDCに向けた春の観光キャラバン（3月）
	その他 ・AtoZ・FIGHT7プロジェクトキャンペーン（3月～12月） ・企画展PR広報活動（7月、12月、3月） ・その他園外PR活動（通年）

(3) 展示活動事業

展示テーマである「那珂川から世界の川、そしてあこがれの海へ」をさらに発展させ、栃木県を代表する清流「那珂川」と世界を代表する「アマゾン川」の二つの川に注目した展示を行った。また、15周年記念事業として職員2名をアマゾン現地調査に派遣するとともに、記念企画展としてアマゾンに関する企画展を開催した。

項 目	事 業 内 容
常設展示	「那珂川から世界の川、そしてあこがれの海へ」 那珂川の水生生物、県内の水生生物、日本の希少魚、 熱帯雨林・珊瑚礁の魚等（約300種、約20,000尾）
企画展	H28. 3. 1 ～ 5. 8 春の企画展「観賞魚コレクション」 H28. 7. 12 ～ 10. 30 15周年記念企画展「アマゾンアドベンチャー」 H28. 11. 29 ～ H29. 1. 22 冬の企画展「Light ACUARIO ブルーファンタジー」 H29. 3. 7 ～ 5. 7 春の企画展「突撃!!となりの外来種」
特別展示	H28. 4. 26 ～ 5. 20 水色のアマガエル H28. 5. 17 ～ 6. 26 ピラニア・ナッテリー H28. 6. 8 ～ 白色のナマズ H28. 8. 24 ～ 9. 19 カラフル・アマガエル H28. 10. 4 ～ 10. 30 ハロウィン特別展示 H28. 10. 15 ～ 3. 31 コバルトブルーのアユ H28. 12. 29 ～ H29. 1. 15 干支水槽 H28. 12. 20 ～ H29. 2. 18 サケ稚魚 H29. 1. 28 ～ 2. 14 バレンタイン特別展示 H29. 2. 7 ～ 3. 31 じゃんけんパー・ザリガニ H29. 2. 7 ～ 3. 2 コバルトブルーのニジマス

解説プログラム	バックヤードツアー	水族館内の仕組みや働き等について来館者に説明した。 (学校等団体3,486名、一般776名) 開催：土・日・祝日・夏休み 他
	おもしろ魚教室	解説員による紙芝居、クイズに答えながら水中の生き物について楽しく学べる教室を開催した。(3,714名) 開催：土・日・祝日
主なイベント	H28. 4. 1 水中入社式 H28. 4. 29 ～ 5. 8 ゴールデンウィークイベント H28. 6. 11 ～ 6. 12 県民の日特別イベント H28. 7. 12 ～ 8. 31 夏休みイベント H28. 7. 22 ～ 8. 23 ナイトアクアリウム (4回) H28. 10. 4 ～ 10. 30 ハロウィンカルナバル H28. 10. 23 ハロウィンナイトビュー H28. 11. 13 アクアソーシャルフェス (清掃活動) H28. 12. 1 ～ 12. 25 サンタの水中散歩 H28. 12. 23 クリスマスナイトビュー H29. 1. 1 ～ 1. 15 正月関連イベント H29. 1. 28 ～ 2. 14 バレンタインイベント H29. 1. 28 ～ 3. 5 水遊園のひなまつり	

(4) 体験交流事業

農村の文化や様々な地域資源などについて利用者が楽しみながら学ぶことを目的に各種体験講座を開催した。水族館と融合した体験講座を企画し、「見て、触れて、食べて、感じて」を実現できる体験交流事業を実施した。

項 目	事 業 内 容	体験者数
おさかな研究室	魚や水生生物等の観察、実験講座 メニュー：川にすむ生物を調べよう等、メダカの飼い方、さかな博士に挑戦！〇×クイズ、チリメンモンスターをさがせ！、けんぴ鏡の使い方をマスターしよう、ザリガニとともだちになろう等	6,269 名
味わい工房	地域の農産物を活用した調理加工講座 メニュー：こんにゃくゼリー、ソーセージ、かしわもち、草餅、花巻寿司、田舎まんじゅう、ピザ等	4,276 名
創作工房	地域に伝わる伝統工芸等講座 メニュー：竹細工、木工細工、石絵、まゆクラフト、フラワーアレンジメント、和紙工芸、絵手紙等	7,331 名
お魚ふれあいステーション	魚のつかみどり、釣り講座 メニュー：つかみどり、エサ釣り、五目釣り、ザリガニ釣り、ルアー・フライ釣り	釣り池 12,825 名 つかみどり 3,709 名
体験受講者数合計 34,410 名		

その他の事業	H28. 7. 18	ピラルクーまるごと試食会
	H28. 11. 8 ～11. 23	写生コンクール作品展
	H28. 11. 27	冬の釣り大会
	H29. 1. 31 ～2. 19	水遊園思い出写真展示会
	H29. 3. 12	春の釣り大会

(5) 地域及び教育機関等との連携事業

当なかがわ水遊園が那珂川沿川地域活性化の拠点施設として、地元自治体・関連施設、地域住民等と連携し、地場産業・観光の振興等地域発展を図るため、地域資源の積極的な紹介や集客のための企画をとおして地域の活性化につなげた。

また、水生生物調査などを地域の学校等団体と連携して実施したほか、学校がキャリア教育として実施している「マイチャレンジ」等の就業体験、大学生による「博物館実習」、教職による「社会体験等研修」を積極的に受け入れ教育活動の支援を行なった。

項 目	事 業 内 容
地域連携事業	H28. 7. 10 那須高原ロングライド H28. 7. 15 開園 15 周年記念式典 H28. 7. 17 じもフェス H28. 9. 11 那珂川大感謝祭 H28. 9. 22 なかがわ里山ポタリング (サイクルフェスティバル) H28. 11. 3 なかがわわくわくワークショップマルシェ (クラフトフェス) H28. 10. 9、10. 16 大田原市婚活イベント
調査研究活動	羽田ミヤコタナゴ再導入事業 (17 回) 農地・水保全管理支払交付金関連事業 (水生生物調査) 支援 (9 回) ウチダザリガニ生息調査 (4 回)
教育機関との連携事業	①出張授業 13 回 ②職場体験ほかキャリア教育支援 ・中学校： 12 校 25 名 ・高等学校： 2 校 4 名 ・専門学校： 4 校 4 名 ・大学： 1 校 1 名 ・教員等： 3 校 3 名 計 22 校 37 名

2 附帯事業 (ショップ等事業) (収 1 事業)

栃木県なかがわ水遊園内のミュージアムショップ及び喫茶コーナー等の運営を、公社の自主事業として実施した。一方、コイ疾病のまん延防止対策を講じたことに伴い、6 月以降コイえさの販売を中止した。

参考資料 1 主たる会議等

年月日			主要事項
4月12日	～	3月18日	とちぎっ子食育出前講座（全51回）
4月26日			公社事業説明会
5月7日	～	2月25日	とちぎ夢大地応援団ボランティア活動（全10回）・カレッジ活動（全3回）
5月29日	～	2月5日	新規就農相談会inとちぎ（全5回）
6月9日			第19回理事会（H27年度決算等）
6月16日、		2月22日	なかがわ水遊園事業推進懇談会
6月21日	～	2月2日	青年就農給付金第1回審査会（全4回）
6月22日			第2回農地中間管理事業評価委員会
6月24日			第13回評議員会（H27年度決算、役員改選等）
7月15日			栃木県なかがわ水遊園開園15周年記念式典
7月16日	～	2月18日	新・農業人フェア等県外就農相談会（全8回）
9月14日	～	2月24日	「とちぎ6次産業化実践塾」（全6回）
9月26日	～	10月5日	青年農業者海外派遣研修（14名）
10月5日	～	12月7日	「つなごう！食と農実践講座」（大人コース全5回・親子コース全3回）
10月13日	,	2月8日	農地中間管理事業推進会議
10月29日	～	10月30日	とちぎアグリプラザPR活動（食と農ふれあいフェア他4回出展）
11月20日			とちぎの農業法人現地見学ツアー
12月11日	～	12月26日	公社専任職員採用試験（事務職1名、土木職1名採用）
2月3日	～	2月5日	第66回「関東東海花の展覧会」（東京 池袋サンシャインシティ）
3月6日			指定管理運営に係るとちぎ花センター第三者評価会議
3月8日			第20回理事会（H29年度予算案等）
3月16日			栃木県なかがわ水遊園外部有識者意見交換会
3月23日			第14回評議員会

参考資料 2 評議員・役員・職員等調

1 評議員

区 分	平成29年3月31日現在（名）	平成28年3月31日現在（名）
評 議 員	10	10

2 役員

区 分		平成29年3月31日現在（名）	平成28年3月31日現在（名）
理 事	常 勤	3	2
	非 常 勤	8	9
	計	11	11
監 事		2	2
合 計		13	13

3 職員

区 分	平成29年3月31日現在（名）			平成28年3月31日現在（名）		
	職員	パート・臨時	計	職員	パート・臨時	計
事 務 局 長	1		1	1		1
総 務 部	6	1	7	5	1	6
農 地 集 積 推 進 部	13	1	14	12	1	13
農 政 対 策 部	7(2)	1	8(2)	8(2)	1	9(2)
事 業 部	8	0	8	8	1	9
とちぎ花センター	13	11	24	14	11	25
栃木県なかがわ水遊園	33	7	40	39	2	41
合 計	81(2)	21	102(2)	87(2)	17	104(2)

（注）（ ）内は県派遣職員で内数